



## 多職種連携研修会 開催報告

日時：平成 31 年 3 月 7 日 (木) 午後 6 時 30 分から午後 8 時 場所：白河市立図書館 中会議室 参加者：78 名

平成 30 年度の第 6 回目となる多職種連携研修会が行われ、白河市、西郷村ほか各市町村の看護師、介護支援専門員、理学・作業療法士、薬剤師など在宅医療に関わる専門職の方々の参加を得て開催されました。

初めに円谷白河地域在宅医療拠点センター長から平成 30 年度「多職種連携研修会」アンケート結果からみた在宅医療・介護連携の課題について説明させていただきました。

続く講義では、鈴木勝美氏 (白河みなみ歯科診療所院長) より「歯科口腔から見る介護予防・重度化防止について～オーラルフレイルの概念から」、鈴木聡美氏 (表郷 聖・オリーブの郷 言語聴覚士) より「～摂食嚥下のリハビリテーションの専門職として～」の講義が行われました。

その後、大竹樹美氏 (介護老人保健施設ひもろぎの園 言語聴覚士) の事例発表をもとに 16 のグループに分かれ、活発なグループワークが行われ、有意義な研修会となりました。



## 新センター長・副センター長挨拶

白河地域在宅医療拠点センター長 (白河医師会 会長) 鈴木茂毅



団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年を目標に住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられることができるよう医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制 (地域包括ケアシステム) 構築の実現がうたわれています。

白河地域においては、白河地域在宅医療・介護連携推進事業を白河市・西白河郡町村 (矢吹町、西郷村、泉崎村、中島村) の 5 市町村が実施主体となり、事業を円滑に実施するため白河医師会と協力し「白河地域在宅医療・介護連携推進協議会」を設置することになりました。また実際の医療・介護の連携・運営のために白河地域在宅医療拠点センター (以下、拠点センター) により、地域医療情報連携ネットワーク、在宅医療の体制を整え多職種連携による個別事例の検討を、引き続き行っていきます。

しかし、このシステムは地域の実情に応じて大きく異なるため、地域の特性を考慮し構築する必要があります。また、個々の状況に応じた柔軟性が必要であると考えます。

地域包括ケアシステムの中で拠点センターは主に医療の相談・連携の拠点となります。

限られた医療・介護資源を有効に活用し、必要なサービスを確保するため、地域の高齢者のニーズや現状を把握することが必要になり、多職種との連携は不可欠です。拠点センターは地域住民・地域社会のため介護支援に関係する事業所、保健・福祉施設、行政と「連携」し「時代の要求」に答えていく決意です。地域住民の皆様のご理解ご協力を何卒よろしくお願いいたします。

白河地域在宅医療拠点副センター長 杉原常夫



この度、4 月 1 日から白河地域在宅医療拠点センターの副センター長として就任いたしました杉原常夫と申します。前センター長の円谷が、3 月 31 日を以って退職いたしましたので、穂積先生から急遽依頼されて、業務を行っています。

現在の看護師、事務職員も 5 月末で全て退職いたします。そのため、拠点センターの業務内容を知っている者は、不在となります。5 月末迄に出来る限り業務内容を把握して、今までの活動に支障を来さないようにしていきたいと思っております。スタッフに関して出来る限り早く整えて円滑に事業ができるようにしてまいります。当分の間関係者の皆様方には、ご迷惑をおかけすると思いますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

## 白河地域在宅医療・介護連携推進協議会 設立総会開催予定

今年度より、在宅医療及び介護を一体的に提供するため、医療機関及び介護サービス事業者等が連携し、白河市、西郷村、泉崎村、中島村及び矢吹町が実施する在宅医療・介護推進事業を円滑に推進するため、白河地域在宅医療・介護連携推進協議会が設置されることとなりました。その設立総会が下記日時・場所で開催されますので、お知らせいたします。

記

日時：令和元年 6 月 20 日 (木) PM 13:30～15:00  
場所：白河図書館 中会議室

## 《2019 度 白河地域在宅医療拠点センター体制》

- ・センター長 鈴木茂毅
- ・顧問 穂積彰一
- ・副センター長 杉原常夫
- ・事務員 玉手幸一
- ・相談員 鈴木日登美 (准看護師・介護支援専門員)、岡崎隆史 (社会福祉士・介護支援専門員)